

医療現場観察と個人情報

AMED次世代医療機器連携拠点整備等事業
東北大学・東京女子医科大学・広島大学 広域3拠点合同シンポジウム

世界をリードする医療機器開発には、医療機関、アカデミア、企業の連携および国の支援が欠かせません。国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)が次世代医療機器連携拠点整備等事業で採択した日本国内の14拠点では、それぞれ特色ある取組みを通じて医療機器開発を推進しています。本合同シンポジウムは、東北大学、東京女子医科大学、広島大学の広域連携3拠点が一体となり、医療現場観察と個人情報に関わる最新のトピックを取り上げます。

2023

2.24

金

開場 12:30

開会 13:00~16:00

参加費無料

会場:ステーションコンファレンス東京(605ABC)
<https://www.tstc.jp/tokyo/access.html>

定員60名
※先着順

住所:〒100-0005
東京都千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー6階

参加申し込み方法はウラ面に



田代志門 先生



風間正博 先生



成行書史 先生

13:00

▶▶ 開会挨拶

13:10

▶▶ 第1部 「臨床研究と個人情報」

— 診療情報の研究利用に関する規制上の課題 —
スピーカー:東北大学/田代志門 先生
モデレーター:広島大学/杉山大介 先生
パネリスト:東京女子医科大学/村垣善浩 先生
パネリスト:スタンフォード大学/池野文昭 先生

14:20

▶▶ 第2部 「医療データを用いた製品開発の課題」

— 企業が個人情報を扱う際に注意している点 —
スピーカー:風間正博 先生(株式会社アルム)
スピーカー:成行書史 先生(富士フィルム株式会社)
モデレーター:東北大学/中川敦寛 先生
パネリスト:東京女子医科大学/楠田佳緒 先生
パネリスト:広島大学/杉山大介 先生

15:20

▶▶ 第3部 「医療現場観察・医療データ活用への取り組み」

モデレーター:東京女子医科大学/正宗賢 先生
パネリスト:東北大学/小鯖貴子 先生、中川敦寛 先生
パネリスト:東京女子医科大学/吉光喜太郎 先生
パネリスト:広島大学/繁本憲文 先生

15:50

▶▶ 閉会挨拶

申し込み方法

参加申し込みは、下記URLまたは右のQRコードより、
本イベント参加フォームへアクセスしてお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/kEPmdRve9M>



お問い合わせ先

trc-dvc@hiroshima-u.ac.jp (担当:繁本)

各拠点の紹介



東北大学



東北大学病院
病院長
富永悌二先生

東北大学では、事業化に資するニーズの探索・同定・事業化まで伴走する体制として、医療現場受け入れプログラム(東北大学病院ベッドサイドソリューションプログラムアカデミック・サイエンス・ユニットASU)を提供しています。患者体験をエンド・ツー・エンドで観察したり、医療プロフェッショナルのワークフローを時間軸に沿って、あるいは職種横断的に観察したりする本プログラムは、東北大学病院全診療科・部門の協力はもとより、国内外の医療機関との有機的連携を特長としています。また、医療機器開発全体を俯瞰し、アウトバンド展開も見据えた出口戦略を構築できる人材の育成を目指し、医療機器開発人材育成講座を開講しています。レギュラトリーサイエンスを主軸に、座学だけでなくグループワークを活用し、実践力を高めることで、テクノロジーや環境、ニーズの変化に伴う医療の在り方の変化に対応できる人材の育成を目指しています。

<https://www.crieto.hosp.tohoku.ac.jp/>



東京女子医科大学



先端生命医学研究所
副所長
正宗賢先生

東京女子医科大学では、医療機器産業を活性化し、世界を席卷する本質を掴んだ医療機器開発の基盤構築により、『持続可能な医工融合Finisher輩出システム』の実現を目指しています。受講者の知識レベルに応じた複数のセミナー開催および高度医療機器への重点化、臨床現場見学の診療科・拠点の拡大および充実化、ニーズ収集検討プログラムでの意見交換の充実化、アイデアを迅速に形にするものづくり工房の利用拡大および充実化を行っています。また、50年以上の医工学教育の歴史を持つバイオメディカル・カリキュラム(BMC)や国内初の医師主導治験での経験・知識、医工融合による医療機器開発を通して培ってきたノウハウを活かすことで、世界展開できる機器を利益に変換する人材(Finisher)を多く輩出していきます。

<https://www.twmu.ac.jp/ABMES/nxmed/>



広島大学



トランスレーショナル
リサーチセンター長
広島大学副学長
津賀一弘先生

広島大学では、医療機器開発を担う関係者の方々に、臨床現場での観察によって医療関係者が有するニーズを把握していただく機会を提供するとともに、セミナー等により、人材育成に資する情報を提供しています。

さらに、本拠点は、ひろしまバイオデザインとも連携しており、ご希望に応じて、ひろしまバイオデザインが有するニーズ探索手法やバイオデザイン手法を組み入れた個別指導・助言、あるいは、新興国であるインドにおけるニーズ収集等のサポートが可能です。これらの取り組みにより、国際的な競争力を有し、臨床現場でのニーズを満たし、価格とのバランスを有した機器開発に貢献するものと考えております。

<https://trc-device.hiroshima-u.ac.jp/>